

(注三)

総括考察

①「486 哭奥州藤使君」に投影された『白氏文集』の一考察 須藤修一

〔哭奥州藤使君〕他一編〔菅家後集〕全注釈 (二二)

(注四)

『白氏文集』「0003 哭孔戡」を以下に引用する。

0003 哭孔戡

洛陽誰不死

洛陽誰か死せざらむ

戡死聞長安

戡が死 長安に聞ゆ

我是知戡者

我は是れ戡を知る者

聞之涕泫然

之を聞いて涕泫然たり

戡佐山東軍

戡は山東軍の佐たり

非義不可干

義に非ずんば干むべからず

拂衣向西來

衣を拂ひ西に向つて来る

其道直如絃

其の道 直きこと絃の如し

從事得如此

事に従ひ此の如きを得るは

人人以爲難

人 人以て難しと爲す

人言明明代

人は言ふ明明の代

合置在朝端

合に置いて朝端に在らしむべし